



岩手、宮城、福島、そして東京

吉田 英生

京都大学 大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻

E-mail: sakura@hideoyoshida.com

11月の福島 泉田川のサケとの出会いから

昨年11月に、1991年11月、2001年11月に続き福島を訪れた。間隔が10年（ないし11年）なのは偶然だが、毎回11月なのは訳がある。双葉郡浪江町泉田（いずみた）川にサケが産卵のために遡上してくる時季に対応している。死を直前にひかえ命がけで産卵にやってきたサケには申し訳ないが、泉田川観光食堂名物のイクラ丼定食は美味である。その美味に出会えたのは、筆者の研究室を卒業したM君が東京電力福島第一原子力発電所に勤務していたので、晩秋の福島の旅に際して家族ぐるみでお世話になったことによる。

今回は遅ればせながら東日本大震災後の岩手・宮城・福島視察を目的として、東京の自宅から車で1泊2日の一人旅だった。エネルギー的には無駄が多いが、東京から被災地までの連続性を、身をもって感じたかったのだ。

東京から岩手へ

東北高速道路で北上する途中のサービスエリアで、「復興商店街を巡る旅 スタンプラリー」のチラシを見つけた。東北高速道路を岩手県最南端の一関で降り、東方に50キロほど山道を走ると宮城県気仙沼市。途中、復興工事用とお

【お知らせ】

2月12, 13日に京機会事務室は桂坂の新キャンパスに移転致します。
それに伴い、京機会事務室を2月7日から15日まで閉めさせていただきます。
何かとご不便をおかけ致しますが、何卒、ご了解のほど、
お願い申し上げます。

ぼしきダンブカーと多数すれ違う。急な山道から視界が開けるとニュースで繰り返し見てきた海岸付近の町並み といっても多数のコンクリートの土台あるいは内部がえぐられた建物 が見える。人気（ひとけ）はほとんどないが、それでも復興屋台村や復興商店街が気炎を上げている。鹿折地区には第十八共徳丸（330トン）が打ち上げられたままになっている。近くにはプレハブのコンビニもぼつんと立っている。

気仙沼から20キロほど北上すると岩手県陸前高田市。海沿いに走ってもリアス式海岸のため山越えになる。山道から海岸に出る三叉路に、津波による被害を受けながらも営業している陸前高田南ガソリンスタンドがあった。せめても、ガソリンを満タンにし、店内で売っていた「がんばっぺしキーホルダー」（あの一本松と同じ高田松原の木を使ったもの）をお土産にいくつか買って協力することしかできない自分をもどかしくも感じる。陸前高田は広大な何も無い空間である。結果的に「瓦礫」と呼ばれる破片を集めて成形した台地のようなかたまりがある。そして小高いところや内陸に入ると再建中の町がある。

これらの被災地ではただただ被災後の「無」のすさまじさに圧倒され、被災された方々のことを思い浮かべると写真を撮る気にはなれない。わずかに、前述のガソリンスタンドの健闘ぶりに心を打たれてシャッターを切った。

せっかく岩手に来たので、陸前高田からさらに北西に80キロほど内陸の花巻市にも寄ることにした。宮沢賢治記念館が目的である。ちょうど夕暮れ時となり、釜石街道の左側に猿ヶ石川を眺めながら野焼きの香もする情景は、日中に見た被災地とは対照的に幻想的である。これが賢治が理想郷としたイーハトブ（イーハトーブ）なのかと実感する。

宮城・福島から東京へ

花巻から宮城県名取市に160キロほど南下する。復興支援を兼ねて、コンテナを積み上げて10月にオープンしたばかりのホテルに泊まる。名取は仙台空港に近いところであるがホテル周辺は幸い津波の被害から逃れている。

2日目は、いよいよ国道6号線を南下して福島県入りする。相馬市や南相馬市では土地が平らなため、海岸から比較的離れたところを通っている国道の両脇にも、内部をえぐられた建物が続く。「この先通行止め」の案内が繰り返し現れ、車の数がどんどん減っていく。小高（おだか）駅前に行くと建物は比較的無事に見えるが町は静まりかえっている。ただ1軒だけ床屋の回転灯が、営

業中のサインを送っていた。これこそ「一所懸命」ということだろう。

国道6号線をさらに南下すると、ついに検問所が出現し立ち入り禁止区域となるので、Uターンして福島市方面に険しい山道を西進せざるを得なくなる。思い出の泉田川のサケも何もあったものではない。原発避難者を含め、未だ全国で32万人以上の方々が避難しているという（復興庁 2012年12月6日現在）。この数は新宿区の人口とほぼ等しい。

南相馬から70キロほど山道を通って福島市に出て、東北高速道路を東京に向けひた走る。あたりは暗く前方の車のテールランプのみがずっと見えていた。しかし、首都高速川口線で荒川を渡るとき（江北ジャンクション付近）に突如浮かび上がった東京の高層マンション群の豪華な夜景！これが同じ日本か！と思わずつぶやく。

未曾有の問題には未曾有の発想と行動

1日目に800キロ、2日目に500キロ、合わせて1300キロの旅を終えて強く感じるのは、月並みな表現ではあるが、同じ日本という国の中に、いまだにとてつもない苦難に陥ったままの地域と、いまだにかつてからの豊かさの中に居続ける地域とが同居しているということである。今後のエネルギー選択の問題を含め、復興・再生へのこの未曾有の困難な問題に立ち向かうには、やはり未曾有の発想と行動が必要ではないのか。今年もその答えを自分なりに探し求めていきたいと思う。

***** 後記 *****

先日来、除染作業の手抜きが報道されていますが、木の枝を川に落とすなんてことは本質でも何でも無いと思うのです。そもそも除染が本当に必要なら、必要な地域については大中小の谷があろうが岩盤があろうが小川があろうが、100年（以上）かかってもとことん表面を削り取ってこれ以上拡散しないようにする処置が必要であると思います。それができずにポーズだけで小枝を集め洗浄水を集めても、自然の風雨による拡散に比べていかほどの意義があるのかという直感は、おそらく正しいと思います。

また、人口密度も産業密度も神戸とは全く異なる被災地を復興させるには、まず日本の重心を少しでも北寄りにシフトすることが必用であると思いますし、口先では復興と繰り返しつつも我が身の「究極の関心事」にはなっていない政治家のみならず一般国民の意識を持続させるには、そのためのしくみが必用と思います。遷都までは難しいとしても、総理官邸と国会と議員宿舎を福島の方に移動するくらいの覚悟で取り組まないと、被災地の復興は難しいとも思いました。後世の人達が平成の日本人をどのように評価するのだろうかという思いが日々よぎります。

2 . 学生諸君へ伝えたいこと

(つづき)

私は日立に入社した当初、コンピューターの設計業務に携わり、その後事業部長、続いて米国の2つの会社のCEOを相次いで拝命してカリフォルニアのシリコンバレーの中心にあるサンノゼ市やサンタクララ市で約6年間過ごしました。帰国後は数年間にわたり技師長として東京の国分寺市にある中央研究所にいました。この間の様々な経験から「企業の生死を決めるのは人財の確保であり、人の育成である」と確信し、いろいろな局面で「教育の重要性」を痛感しました。そのため、実際に様々な社内外での教育活動にも携わってきました。

さて我々が、教師であれ学生であれ、「教育」について考えるとき、まずはその目的を明確にしておくことが必要となりましょう。当然のことながら、教育の場には教育者と受講者が存在します。従って、教育者、受講者それぞれが教育活動の目的をしっかりと確認しておくことが求められるはずです。先人たちも同様に考えた末、夫々に「教育活動の目的」を規定してきました。

私は数年前から岡山大学の産官学融合センターで、3名の客員教授の一人として社会人の方々を対象とするMOTセミナーで教鞭を取っています。そうした背景もあり、私自身の教育に当たっての立ち位置を常日頃考えさせられているのですが、今回の東北への旅を通して上に参照した啄木という一人の天才が主張する「教育の目的(1)を参照)」に同感し、教育者としての立場はやはりこのようなことでなければならないのではないかと強く感じました。

一方、勉学をする受講生の立場はどうであるべきでしょうか。大学では多くの学生が勉学に励んでいます。その目的をどう捉えているのでしょうか。デカルトは『精神指導の規則』という未完の著書の中で、勉強の目的を「規則第1」として下記の通り掲げています。(『精神指導の規則』(デカルト著 野田又夫訳 岩波書店 青613 - 4)

「勉強や研究(Study)の目的は(人生の様々な場面において次々と目の前に)現れ出るすべての事物について確固とした真実な判断を下すように精神を導くこと、でなければならない」²⁾

私は、学問の目的についてこれほど簡潔で明瞭な記述は他に例を見ないし、その内容は素直に受け入れられると確信できたので、それをあるエッセーの中で次のように紹介しました。

「空しい名誉、卑しむべき利得」を（勉学の）目的とするというのは論外であるとしても、自分の専門分野と称する学問の対象のみをきわめて細心に究明しその個々の研究結果を成果と称して切り売りしようとしたり、深く研究室に閉じ籠り独断的に決めた真理と自称するものを静観したりすることをよしとする類はよくあることだ。デカルトの生きた時代もそうであったが、現在ではさらに学問分野が細分化、多様化してきており、しかも全体がシステムとして複雑化し相互の関係を深めている。イノベーションプロセスの中で仕事を進める技術者が、例えば市場経済学やビジネスアドミニストレーション、原価計算法などの自分の専門外の領域に全く興味を示さぬとすれば彼のそのプロセス全体への寄与は極めて限られたものになる。

「全ての学問は相互に結合し、互いに依存」しているから「真面目に事物の心理を探求し」「生活の一家の状況において悟性が意志に何を選ぶべきかを示すように」するためには「どれかただ一つの学問を選んではいならない」という。なおここで「生活の一家の状況において」と表明されるとき、我々技術者の志向は科学技術のみの領域からさらに広げられ、各個の人間生活、生き方にまで及ぶことになる。（「技術者の生き方について」 成瀬、デカルト読本 法政大学出版局 1998年 pp.295-303）

先に述べた岡山大学での社会人向けMOTセミナーは10章で構成しており、1章につき朝10時から夕方5時までの講義と演習を行っています。毎年受講生を募集すると20名の定員を超える申し込みがあり、セミナーは活況を呈しています。このセミナーを行いながら、上に述べたような内容をぜひ学生諸君にも伝えておきたいと考え、岡山大学の自然科学研究科で産業創成工学を専攻されている塚本教授と相談いたしました。塚本先生は副専攻としてコミュニケーション教育コースの責任者もされており、私が構想したシラバスを先生が担当するこの副専攻の科目の一つとして採用したいと考えていただき、早速2013年度の科目として「起業工学」という名称の科目を開設することになりました。

対象となるのは大学院生ですので、上述の考察はこれから社会へ出るという彼らにとって絶好のタイミングになると思っています。この講義の目的は、今後彼らが修士課程終了までの期間にスムーズに就職活動を行い、また社会に出ても担当する事業に対して優れた貢献ができるようになる為のガイダンスとして、各自が自身の「個」を確立し自信を以て主張する何物かを手に入れるプロセスを身につけることを促すことにあります。そのため、単なる「How Toも

の」、あるいは「マニュアル」としてではなく、なるべく問題の本質に迫ることにより、その講義の目的を完遂したいと考えました。言い換えれば、大学で「その分野の高い知識」を習得したとしても目まぐるしく変化する昨今の技術動向を考えるとそれらはすぐに陳腐化します。従って陳腐化しない本質的なものは何かについて、学生時代の内に一度は考えてみなければならぬのです。たとえば、17世紀に西欧で興った科学革命を起点として近代科学が発達したことに鑑み、科学革命の意味について考えることも決して無駄ではないと思うのです。以上のような観点に基づき、本講座においては、普遍的な課題を見つめなおし、各自が自信と誇りを持って「自分自身の見解」を育むために、自身で研鑽して戴く事に注力したいと考えました。

一方、このような技術科目に特化しない、多分野にまたがった包括的、なおかつ形而上学的な考察も交えた内容を充実した講義の形にまとめあげることは容易ではないと想像できます。それこそあまり前例をみない講義内容となることには間違いなideでしょう。この挑戦的な内容に対する学生諸君の反応についてはまた別の機会に皆様にご紹介できるかもしれないと思っております。

(つづく)

[参考文献]

- 1) 「技術者の生き方について」 成瀬、デカルト読本 法政大学出版局
1998年 pp.295-303
- 2) 『起業工学』 ～新規事業を生み出す経営力～ (福田國彌監修 発行：幻冬舎 2012年2月25日)
<http://www.gentosha-r.com/products/9784779007712/>

—— 京機短信への寄稿、 宜しくお願い申し上げます ——

また、原稿が切れてきました。投稿、お願い致します。

【要領】

宛先は京機会の e-mail : jimukyoku@keikikai.jp です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。 宜しくお願い致します。

矢野 義昭 (昭和47年卒)

3. 多目的に利用できる沿岸設置のメガフロート

沿岸に設置するメガフロートは環境問題その他の課題の解決にも利用できる。どの自治体でも問題になるごみ処理場などを海上に設置すれば、漁業権などの問題を解決しなければならないが、新たな用地買収の必要はなくなる。原油、液化天然ガスなどの備蓄用にも使うことができる。陸上の海岸部に設置されていた原油や液化天然ガスのタンクが地震と津波に襲われ、内部から原油などが流出して深刻な水上火災を招いたことは、東日本大震災の記憶にも新しいが、洋上のメガフロートに備蓄しておけば流出などのおそれはない。

また福島第一原発の事故処理に当たり、放射能汚染水の保管のために、陸上の施設以外にメガフロートが活用された。メガフロートなら汚染水が満杯になれば放射能が減衰するまで密封して安全な海域に長期間係留しておくこともでき、台風などが来ても、他の安全な場所に曳航でき、地震や津波にも安全である。

メガフロートは、原発に連動したプロペラなどの外付けの駆動装置を取り付けるかタグボートの曳航により移動可能にしておけば、何らかの危険性が予想される場合には安全な場所に一時的に避難させることもできる。また災害救援のために、臨時ヘリポートを開設し被災地に対する患者の後送、救護、補給などの活動拠点としても活用でき、防災上の価値も大きい。

さらに、メガフロートに土を入れて緑化を行い淡水化装置で真水を確保して原発と新エネルギーを併用して電力源にすれば、巨大な居住空間としても使用できる。そうなれば、洋上都市として今後増大する世界人口の新しい収容空間として利用することもできるようになるであろう。さらに、海洋資源を主な食料としエネルギーも自給できれば、世界的な資源・エネルギー・食糧問題の解決にもつながる。

4. メガフロート・ネットワークの多様な用途とその効用

沿岸に設置するメガフロートとは別に、日本の広大な海洋面積の特性を生かし、メガフロートのネットワークを洋上に広く展開することにより、さまざまな新しい活用方法と波及効果が得られる。設置の目的とその場所として2通りの案が考えられる。一つは、防衛警備を主目的として、尖閣諸島、竹島、北方領土な

ど領土問題を抱えた離島の近海に設置する案である。もう一つは、離島間の中継連絡用として、大東島から沖ノ鳥島の間、沖ノ鳥島から小笠原諸島の間、小笠原諸島から南鳥島の間の中間点に、500 キロメートル程度の間隔でメガフロートを配置するとともに、面積の少ない沖ノ鳥島にも1基配置する案である。これらの両案をともに採用すれば、外洋に設置するメガフロートの数は計7基になり、それらを相互に海空交通網と通信網により連結してネットワークを構成することができる。これらのメガフロートの動力とエネルギー源は、小型原子炉と新エネルギーを併用することになるであろう。

各国境離島に近いメガフロートは、当該離島の防衛警備上の拠点として、監視・早期警戒用レーダなどを配備し、それらを運用、警備する部隊を配置できる。また甲板はヘリや短距離離着陸機の離発着に利用できる。メガフロートに各種の無人機とミサイルを搭載し警護用の艦艇、潜水艦などを周辺の海域に配備して互いに指揮統制・通信・情報系統でリンクすれば、空母群とイージス艦を併せた防衛機能を果たすこともできる。原子炉とガスタービンを主な動力源としてプロペラと連動させれば、ある程度の速度での移動も可能となるであろう。

また経済面でも、広大な離島を結ぶメガフロートのネットワークは、幅広い関連産業の需要を生み雇用を拡大できる。国内で成功すればメガフロートは新たな大型輸出品ともなるであろう。またメタンハイドレート、マンガン団塊、熱水鉱床などの海底資源の埋蔵海域に展開すれば、それらの資源の開発・採掘と積み出しの拠点にもなる。また海の特性を利用し、海洋科学、バイオ科学の安定的な研究開発拠点にできる。さらにメガフロートの周囲の海を海洋生物の養殖場として利用できるかもしれない。これらのメガフロートは新エネルギーとガスタービンを主な動力、エネルギー源とし、必要に応じて原子力発電を使用することになるであろう。

離島近海のメガフロートを拠点として、遠隔地の離島を新たな観光スポットとして開発することもできる。またネットワークを構成するメガフロート相互間及び本土を結ぶ、新たな高速海洋交通網、コンピューター交通網の需要が生まれ、新しい海上インフラとなるであろう。メガフロートに衛星追跡ステーションを整備し、それらを通信・情報ネットワークで結ぶことにより、わが国独自の衛星追跡システムやGPSの整備も可能になり、ロケットの打ち上げ基地としても利用できるなど、航空宇宙分野の成長も促進できる。

(つづく)

[遺憾]の意味を辞書で調べると、「期待したようにならず心残りであること、残念に思う。」とある。謝罪しているのでも批難しているのでもなく、感情を表わしているだけである。しかし実際に使われる場面は、自己の謝罪或いは相手への叱責に用いる。日本の官僚や企業経営者が好んで使い、自己の謝罪を曖昧にし、相手への気兼ねから叱責を曖昧にして、ストレートな表現を避けたがるので、常に日本側の利益を損なう話をしている。海外諸国の外交官や企業経営者と違う。

regret (後悔する) pity (同情する) excuse (容赦する) apologize (謝罪する) deplore (咎める) の如き明確な動詞を用い、主語と対象を明確にして表現する英語を見習えば、曖昧な表現をしなくて済むのだが。

昔話になるが、

手許の辞書に[自己主張]が太字で書かれているであろう隣の国の元大統領：盧武鉉は、朝鮮語を日本語に翻訳するところなるのかも知れないが[遺憾の意]を連発していた。謝っているのか？ 勿論、彼の意に反することは怪しからんと、常に文句をつけていたのである。

「中国・温家宝首相に歴史問題で遺憾表明」

最近ますます増大してきた韓国による歴史人物・漢字・その他物品の起源のパクリについて謝罪している訳ではない。歴史を遡上して両国間の紛糾に文句をつけている。

「金大中が日本で韓国国家安企部に拉致された件に遺憾の意を表明」

日本の国家主権を侵害したことに謝罪しているのではなく、金大中が韓国国家安企部に拉致されたことのもみ消しに加担したと言って日本が悪いと非難している。珍しく、当時の町村外相が「遺憾発言は謝罪と受け止める」と念押ししたが、盧武鉉は「とにかく遺憾」と繰り返すだけで取りつく島がなかったと、報道されていた。

牧野俊郎教授 最終講義および退職記念パーティーのご案内

日時：2013年3月20日(水/祝)

・最終講義 「京都大学での45年を振り返って」

会場：京都大学物理系校舎1階101教室（京都大学本部吉田構内 建物No.57）

時間：13:00～14:30（12:30受付開始）

・退職記念パーティー

会場：京都平安ホテル（地下鉄烏丸線今出川駅下車南に徒歩7分）

時間：16:00-18:00（15:30受付開始）

会費：7000円の予定

参加申し込み、問い合わせ： 3月6日(水)までに若林英信あてメールにてご連絡ください。 wakabayashi.hidenobu.8n@kyoto-u.ac.jp

tel.: 075-383-3656, 3658

京機22年卒 同窓会

日時：平成24年11月5日(火) 12:30～15:30

場所：ホテルグランヴィア大阪 出席者：14名

夫人同伴の必要な人が増えてきた。台湾の蔡も体調悪く欠席。この年配になると夫婦共に無事な人は減ってくる。自然に話題は身体の故障になるが、戦中戦後に旧制高校、機械教室を過ごした我々には勤労働員、工場実習など懐かしい思い出が多い。天野が高校時代の回想記をまとめ、関連して話は尽きない。

次回は 月日：平成25年3月25日(月)

場所：ホテルグランヴィア大阪 (中井記)



(写真左前列より 河野、中井、窪田、天野、天野夫人、宮下夫人、宮下、
後列左より 若林、窪田夫人、若林夫人、竹内、村上、井上、森本)

1 . 平成 2 5 年度予算政府案

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/index.htm

平成 2 5 年度予算のポイント(716kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/01point.pdf

平成 2 5 年度予算フレーム(75kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/02frame.pdf

平成 2 5 年度一般会計歳入歳出概算(99kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/03gaisan.pdf

我が国の財政事情(511kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/04zaisei.pdf

各予算のポイント

* 内閣、復興、外務・経済協力係関係予算(5,475kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/06-1.pdf

* 司法警察・財務、経済産業・環境係予算(16,730kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/06-2.pdf

* 総務省予算(1,475kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/06-3.pdf

* 文教・科学技術予算(15,552kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/06-4.pdf

* 社会保障関係予算(733kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/06-5.pdf

* 農林水産関係予算(6,704kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/06-6.pdf

* 国土交通省・公共事業関係予算(3,543kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/06-7.pdf

* 防衛関係予算(6,825kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/06-8.pdf

* 公務員人件費(563kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/05jinkenhi.pdf

(参考)平成 2 5 年度租税及び印紙収入概算(50kb)

http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2013/seifuan25/07.pdf

2 . 平成 2 5 年度経済産業省予算案の概要

2013.1.29 大臣官房会計課

<http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/index.html>

2013年1月29日、平成25年度政府予算原案が閣議決定いたしましたので、当省関連資料を公表いたします。

平成25年度経済産業省関連予算案の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_keisanshoyosan1.pdf

平成25年度資源・エネルギー関連予算案等のポイント

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_energy1.pdf

平成25年度資源・エネルギー関連予算案等の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_energy2.pdf

平成25年度中小企業関係予算案等のポイント

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_chushokigyo1.pdf

平成25年度中小企業関係予算案等の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_chushokigyo2.pdf

平成25年度産業技術関係予算案等の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_sangi1.pdf

平成25年度経済産業省関係財投計画案の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_zaitou1.pdf

平成25年度機構・定員について

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_kikou1.pdf

平成25年度経済産業省関係税制改正のポイント

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_zeisei1.pdf

平成25年度経済産業省関係税制改正について

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_zeisei2.pdf

平成25年度知的財産政策関係予算案の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_tokkyo1.pdf

平成25年度貿易再保険特別会計予算案の概要

http://www.meti.go.jp/main/yosan2013/130129_bouekitokkai1.pdf

3. 平成25年度総務省所管予算(案)の概要 平成25.1 大臣官房予算課

http://www.soumu.go.jp/main_content/000199023.pdf

4. 平成25年度 農林水産予算概算決定の概要

<http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/kettei.html>

I. 平成25年度農林水産予算の骨子

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/00_01_kettei.pdf

II. 平成25年度農林水産予算の重点事項

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/00_02_kettei.pdf

III. 平成25年度農林水産予算の主要事項

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/00_03_kettei.pdf

1. 農業農村整備事業＜公共＞
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/01_25_kettei.pdf
2. 森林整備事業・治山事業＜公共＞
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/02_25_kettei.pdf
3. 水産基盤整備事業＜公共＞
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/03_25_kettei.pdf
4. 農山漁村地域整備交付金＜公共＞
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/04_25_kettei.pdf
5. 強い農業づくり交付金
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/05_25_kettei.pdf
6. 森林・林業再生基盤づくり交付金
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/06_25_kettei.pdf
7. 強い水産業づくり交付金
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/07_25_kettei.pdf
8. 経営体育成支援事業
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/08_25_kettei.pdf
9. 特殊自然災害対策施設緊急整備事業
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/09_25_kettei.pdf
10. 多面的機能・担い手調査
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/10_25_kettei.pdf
11. 中山間地域等直接支払交付金
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/11_25_kettei.pdf
12. 農地・水保全管理支払交付金
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/12_25_kettei.pdf
13. 環境保全型農業直接支援対策
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/13_25_kettei.pdf
14. 経営所得安定対策【特会・一般】
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/14_25_kettei.pdf
15. 人・農地問題解決推進事業
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/15_25_kettei.pdf
16. 新規就農・経営継承総合支援事業
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/16_25_kettei.pdf
17. 担い手への農地集積推進事業【特会・一般】
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/17_25_kettei.pdf
18. 耕作放棄地再生利用緊急対策交付金
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/18_25_kettei.pdf
19. 女性の能力の積極的な活用
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/19_25_kettei.pdf

20. 担い手への金融支援事業（スーパーL資金の金利負担軽減措置）
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/20_25_kettei.pdf
21. 農地制度実施円滑化事業
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/21_25_kettei.pdf
22. 農地保有合理化促進事業【特会】
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/22_25_kettei.pdf
23. 農業共済関係事業（農業災害補償制度）
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/23_25_kettei.pdf
24. 農業者年金事業
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/24_25_kettei.pdf
25. 農山漁村の所得増大対策
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/25_25_kettei.pdf
26. 農林水産物の輸出対策
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/26_25_kettei.pdf
27. 日本の食を広げるプロジェクト
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/27_25_kettei.pdf
28. 農林水産分野における地球環境対策推進手法開発事業
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/28_25_kettei.pdf
29. ODAを通じた飢餓・貧困対策や地球的規模の課題への対応
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/29_25_kettei.pdf
30. 食品産業の強化
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/30_25_kettei.pdf
31. 産業化のための政策シーズの構築
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/31_25_kettei.pdf
32. 農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/32_25_kettei.pdf
33. ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/33_25_kettei.pdf
34. 水産業再生プロジェクト
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/34_25_kettei.pdf
35. 農林水産資源を活用した新需要創出プロジェクト
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/35_25_kettei.pdf
36. 畜産・酪農経営安定対策
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/36_25_kettei.pdf
37. 飼料穀物備蓄対策
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/37_25_kettei.pdf
38. 野菜価格安定対策事業
http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/38_25_kettei.pdf

39. 果樹・茶支援対策事業

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/39_25_kettei.pdf

40. 甘味資源作物生産者等支援安定化対策等

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/40_25_kettei.pdf

41. 鳥獣被害防止総合対策交付金

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/41_25_kettei.pdf

42. 飼料増産総合対策事業

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/42_25_kettei.pdf

43. 生産環境総合対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/43_25_kettei.pdf

44. 産地活性化総合対策事業

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/44_25_kettei.pdf

45. 再生可能エネルギーの大々的な展開

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/45_25_kettei.pdf

46. 有害化学物質・微生物リスク管理基礎調査事業

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/46_25_kettei.pdf

47. 食の生産資材安全確保対策事業

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/47_25_kettei.pdf

48. 消費・安全対策交付金

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/48_25_kettei.pdf

49. 家畜衛生総合対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/49_25_kettei.pdf

50. 地域特産作物・希少疾病等用生産資材の確保

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/50_25_kettei.pdf

51. 農林水産物の生産・流通の場における食育の推進

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/51_25_kettei.pdf

52. 食品の安全性と動物衛生の向上のためのプロジェクト

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/52_25_kettei.pdf

53. 農山漁村活性化プロジェクト支援交付金

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/53_25_kettei.pdf

54. 都市農村共生・対流総合対策交付金

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/54_25_kettei.pdf

55. 「農」のある暮らしづくり交付金

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/55_25_kettei.pdf

56. 森林・山村の多面的機能発揮対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/56_25_kettei.pdf

57. 持続的な森林経営の確立に向けた総合対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/57_25_kettei.pdf

58. 森林・林業人材育成対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/58_25_kettei.pdf

59. 林業金融対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/59_25_kettei.pdf

60. 森林病虫害等被害対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/60_25_kettei.pdf

61. 苗木安定供給推進事業

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/61_25_kettei.pdf

62. 資源管理・漁業経営安定対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/62_25_kettei.pdf

63. 水産業・漁村の多面的機能発揮支援対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/63_25_kettei.pdf

64. 水産物加工・流通対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/64_25_kettei.pdf

65. 漁業経営・人材育成支援対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/65_25_kettei.pdf

66. 増養殖対策

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/66_25_kettei.pdf

67. 漁場環境保全・被害対策事業

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/67_25_kettei.pdf

68. 資源調査・資源管理等

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/68_25_kettei.pdf

69. 技術開発・普及推進事業

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/69_25_kettei.pdf

70. 諫早湾干拓潮受堤防排水門の開門への対応に係る経費

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/70_25_kettei.pdf

参考資料

平成24年度農林水産関係補正予算の概要

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/99_01_kettei.pdf

特別会計歳入歳出予定額表

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/99_02_kettei.pdf

財政投融资計画表

http://www.maff.go.jp/j/budget/2013/pdf/99_03_kettei.pdf

5. 平成25年度文部科学関係予算(案)

http://www.mext.go.jp/a_menu/yosan/h25/1325576.htm

平成25年度文部科学関係予算(案)のポイント

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2013/01/29/1330426_2.pdf

平成 25 年度文部科学関係予算案主要事項

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2013/01/29/1330426_3.pdf

平成 25 年度文部科学省機構・定員について（主要事項）

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2013/01/29/1330426_4.pdf

平成 25 年度文部科学省税制改正事項

http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/_icsFiles/afieldfile/2013/01/29/1330426_5.pdf

6 . 平成 25 年度国土交通省関係予算決定概要

http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_002641.html

平成 25 年度国土交通省関係予算のポイント

<http://www.mlit.go.jp/common/000986377.pdf>

平成 25 年度予算決定概要

<http://www.mlit.go.jp/common/000986378.pdf>

組織別予算概要

総合政策局	http://www.mlit.go.jp/common/000986320.pdf
国土政策局	http://www.mlit.go.jp/common/000986341.pdf
土地・建設産業局	http://www.mlit.go.jp/common/000986327.pdf
都市局	http://www.mlit.go.jp/common/000986338.pdf
水管理・国土保全局	http://www.mlit.go.jp/common/000986328.pdf
道路局	http://www.mlit.go.jp/common/000986326.pdf
住宅局	http://www.mlit.go.jp/common/000986323.pdf
鉄道局	http://www.mlit.go.jp/common/000986346.pdf
自動車局	http://www.mlit.go.jp/common/000986345.pdf
海事局	http://www.mlit.go.jp/common/000986322.pdf
港湾局	http://www.mlit.go.jp/common/000986335.pdf
航空局	http://www.mlit.go.jp/common/000986336.pdf
北海道局	http://www.mlit.go.jp/common/000986329.pdf
官庁営繕部	http://www.mlit.go.jp/common/000986325.pdf
観光庁	http://www.mlit.go.jp/common/000986340.pdf
海上保安庁	http://www.mlit.go.jp/common/000986321.pdf

7 . 平成 25 年度厚生労働省所管予算案関係

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/index-01.pdf>

平成 25 年度厚生労働省予算案の主要事項

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/shuyou.html>

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou.pdf>

I 平成 25 年度予算案の全体像

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-01.pdf>

II 平成 25 年度予算案のポイント

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-02.pdf>

III 主要事項

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-03.pdf>

第 1 子どもを産み育てやすい環境づくり

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-03-01.pdf>

第 2 経済社会の活力の向上と地域の活性化に向けた雇用対策の推進

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-03-02.pdf>

第 3 安心して働くことのできる環境整備

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-03-03.pdf>

第 4 自立した生活の実現と暮らしの安心確保

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-03-04.pdf>

第 5 若者も高齢者も安心できる年金制度の確立

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-03-05.pdf>

第 6 国民が安心できる持続可能な医療・介護の実現

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-03-06.pdf>

第 7 健康で安全な生活の確保

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-03-07.pdf>

第 8 障害児・障害者の日常生活・社会生活支援の推進

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-03-08.pdf>

第 9 施策横断的な課題への対応

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-03-09.pdf>

IV 主要事項（復興・防災対策関連）

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-04.pdf>

第 1 東日本大震災からの復興への支援

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-04-01.pdf>

第 2 原子力災害からの復興への支援

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-04-02.pdf>

第 3 災害への対応体制の強化等

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-04-03.pdf>

平成 25 年度厚生労働省予算案の主要事項一覧表

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-05.pdf>

主要事項の担当部局課室名

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-06.pdf>

平成 25 年度厚生労働省関係財政投融资資金計画案の概要

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/13syokanyosan/dl/shuyou-07.pdf>

平成 25 年度環境省重点施策

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h25/h25juten-2.pdf>

平成 25 年度環境省予算（案）主要新規事項等の概要

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h25/h25-gaiyo-2.html>

平成 25 年度環境省予算（案）事項別表

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h25/h25-ann.pdf>

【全文】 [PDF 38,583KB]

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h25/h25-gaiyo-2/full.pdf>

1 東日本大震災からの復旧・復興等に係る重点施策

1 . 放射性物質による環境汚染への対応

(1) 放射性物質により汚染された土壌等の除染や中間貯蔵施設の設置に向けた取組

放射性物質により汚染された土壌等の除染の実施

中間貯蔵施設検討・整備事業

(2) 放射性物質により汚染された廃棄物の着実な処理

放射性物質汚染廃棄物処理事業

新たに発生した汚染廃棄物の処理加速化事業【24 年度補正】

(3) 原子力被災者の健康管理対策及び健康不安対策のための取組

放射線の健康影響、被ばく線量評価等に関する調査研究

福島県立医科大学におけるリスクコミュニケーション拠点の強化

(4) 放射性物質に関する調査・研究、モニタリング

放射線による自然生態系への影響調査費

水環境放射性物質モニタリング調査

放射性物質地下水質モニタリング調査

被災影響海域における海洋環境モニタリングの調査

放射性物質・災害と環境に関する研究

環境研究総合推進費（復興特会分）のうち、放射性物質に関する調査研究

福島県環境創造センター（仮称）整備事業【24 年度補正】

2 . 災害廃棄物の着実な処理

災害等廃棄物処理事業費補助金

災害廃棄物処理代行事業

災害廃棄物広域処理等支援事業

循環型社会形成推進交付金（公共）（浄化槽分を除く）

3 . 震災に伴う環境汚染への対応

東日本大震災の被災地における化学物質環境実態追跡調査

警戒区域における鳥獣捕獲等緊急対策事業

- 4 . 三陸復興国立公園等の整備による復興への貢献
 - 三陸復興国立公園等復興事業（公共）
 - 三陸復興国立公園再編成等推進事業費
- 11 環境技術を駆使した温室効果ガス削減等と経済成長の同時実現
 - 1 . 低炭素社会創出に向けた官民連携による新たなアプローチの導入
 - 耐震・環境性能を有する良質な不動産の形成のための官民ファンドの創設（国土交通省連携）【24年度補正】
 - グリーンビルディング普及促進に向けたCO₂削減評価基盤整備事業
 - 小規模地方公共団体におけるLED街路灯等導入促進事業【24年度補正】
 - 地域低炭素投資促進ファンド創設事業
 - アジアの低炭素社会実現のためのJCM大規模形成支援事業
 - 二国間オフセット・クレジット制度の構築等事業
 - 地球温暖化対策技術開発・実証研究事業
 - 2 . 再生可能エネルギーの飛躍的拡大
 - 再生可能エネルギー導入のための蓄電池制御等実証モデル事業【24年度補正】
 - 低炭素価値向上に向けた社会システム構築支援基金
 - エネルギー起源CO₂排出削減技術評価・検証事業費
 - 再生可能エネルギー導入拡大に向けた系統整備等調査事業
 - 風力発電等に係る環境アセスメント基礎情報整備モデル事業
 - 洋上風力発電実証事業 [PDF 259KB]
 - 地熱開発加速化支援・基盤整備事業 [PDF 305KB]
 - 温泉エネルギー活用加速化事業 [PDF 206KB]
 - 木質バイオマスエネルギーを活用したモデル地域づくり推進事業（農林水産省連携）
 - バイオ燃料導入加速化事業 [PDF 212KB]
 - 地域循環型バイオガスシステム構築モデル事業（農林水産省連携）
 - 廃棄物エネルギー導入・低炭素化促進事業 [PDF 345KB]
 - 廃棄物発電の高度化支援事業 [PDF 173KB]
 - 再生可能エネルギー等導入推進基金事業（グリーンニューディール基金）
 - 地域特性を考慮した再生可能エネルギー事業形成推進モデル事業
 - 小規模地方公共団体対策技術率先導入補助事業 [PDF 221KB]
 - 3 . 世界最高水準の省エネルギーの実現
 - 先進対策の効率的実施によるCO₂排出量大幅削減事業 [PDF 205KB]
 - サプライチェーンにおける排出削減量の見える化推進事業 [PDF 263KB]
 - エコ賃貸住宅CO₂削減実証事業（国土交通省連携） [PDF 219KB]
 - 特殊自動車における低炭素化促進事業（国土交通省連携） [PDF 169KB]
 - 4 . 持続可能な低炭素地域づくり
 - 住民参加による低炭素都市形成計画策定モデル事業 [PDF 388KB]
 - 地方公共団体実行計画実施推進事業 [PDF 256KB]

- 5 . 日本の環境技術の育成・海外展開
 - いぶき（GOSAT）観測体制強化及びいぶき後継機開発体制整備 [PDF 345KB]
 - 我が国循環産業の戦略的国際展開・育成事業 [PDF 155KB]
 - 我が国の優れた水処理技術の海外展開支援 [PDF 281KB]
- 6 . 低炭素社会の創出に向けたその他の施策
 - (1) 低炭素社会にふさわしいライフスタイル変革の定着
 - 低炭素社会の構築に向けた国民運動事業 [PDF 264KB]
 - 地球温暖化影響の理解及び国民に向けたライフスタイル変革の促進運動事業 [PDF 339KB]
 - 家庭エコ診断推進基盤整備事業 [PDF 411KB]
 - H E M S 活用によるC O 2 削減ポイント構築推進事業 [PDF 312KB]
 - 各家庭のライフスタイルに合わせた需要サイドの低炭素化サポートシステム普及促進実証事業 [PDF 212KB]
 - 木材利用推進・省エネ省C O 2 実証事業（農林水産省連携） [PDF 197KB]
 - (2) カーボン・オフセットの活用等
 - カーボン・オフセット等に用いる新クレジットの創出事業 [PDF 208KB]
 - カーボン・オフセット推進事業 [PDF 232KB]
 - 地域における市場メカニズムを活用した低炭素化推進事業 [PDF 141KB]
 - C O 2 削減ポテンシャル診断・対策提案事業 [PDF 318KB]
 - (3) フロン類対策の抜本的強化
 - フロン等対策推進調査費 [PDF 101KB]
 - 省エネ型ノンフロン整備促進事業 [PDF 213KB]
 - 東日本大震災復興に係る自然冷媒冷凍等装置導入緊急支援 [PDF 245KB]
 - (4) 我が国における温暖化影響の評価と適応戦略の具体化
 - 気候変動影響評価・適応推進事業 [PDF 289KB]
 - 気候変動による水循環への影響評価・適応策検討費 [PDF 555KB]
 - (5) 事業活動、製品、消費行動等のグリーン化
 - 家庭・事業者向けエコリース促進事業 [PDF 127KB]
 - グリーン経済における情報開示基盤の整備・金融のグリーン化推進事業 [PDF 145KB]
 - 環境配慮製品等の国際展開促進事業 [PDF 133KB]
 - 税制全体のグリーン化推進検討経費 [PDF 163KB]
 - (6) 研究・技術開発の推進
 - 持続可能な社会実現のためのトップダウン型政策形成事業 [PDF 197KB]
 - グリーン経済の実現に向けた政策研究と環境ビジネス情報整備・発信事業 [PDF 149KB]
 - 自然模倣技術・システムによる環境技術開発推進事業 [PDF 175KB]

- (7) 環境影響評価制度の効果的・効率的な実施
環境影響評価制度合理化・最適化経費 [PDF 135KB]
- (8) 持続可能な社会の基盤となる人づくりと協働取組
環境教育強化総合対策事業 [PDF 222KB]
持続可能な地域づくりを担う人材育成事業 [PDF 323KB]
地域活性化を担う環境保全活動の協働取組推進事業 [PDF 93KB]
地方環境パートナーシップ推進費 [PDF 332KB]
- 7 . 持続可能な社会の構築に向けた世界への貢献
 - (1) 気候変動交渉を主導する取組
将来国際枠組みづくり推進経費 [PDF 518KB]
2013 年以降の温暖化対策の計画等に関する P D C A 実施費 [PDF 270KB]
温室効果ガス排出・吸収量目録関連業務 [PDF 196KB]
 - (2) 持続可能な社会の実現に向けた環境協力
国際連携戦略推進費 [PDF 160KB]
環境国際協力推進費 [PDF 161KB]
低炭素社会国際研究ネットワーク事業 [PDF 241KB]
地球環境に関するアジア太平洋地域共同研究・観測事業拠出金 [PDF 259KB]
短期寿命気候汚染物質削減に関する国際パートナーシップ拠出金関連業務
途上国におけるコベネフィット効果検証・実証事業 [PDF 118KB]
- III 暮らしの安心や地域活性化への環境面からの貢献
 - 1 . 循環型社会の実現
 - (1) 災害に強い廃棄物処理システムの構築等
浄化槽整備事業計画支援事業費 [PDF 138KB]
浄化槽有効利用・技術開発調査検討費 [PDF 106KB]
循環型社会形成推進交付金（公共）（浄化槽分） [PDF 46KB]
 - (2) 国内外における循環型社会の構築に向けた取組
レアメタル等を含む小型電子機器等リサイクル推進事業費 [PDF 162KB]
使用済電子機器等に係る輸出入の適正化事業費 [PDF 202KB]
総合的な 2 R（リデュース・リユース）戦略の展開を中心とした「質」に
着目した循環資源の利用促進・高度化 [PDF 163KB]
し尿処理システム国際普及推進事業費 [PDF 138KB]
 - (3) 有害廃棄物等の適正な処理
放射性物質汚染廃棄物の適正処理等調査検討事業 [PDF 87KB]
未規制物質を含む廃棄物に係る処理基準等検討調査 [PDF 63KB]
P C B 廃棄物適正処理対策推進事業 [PDF 147KB]
P C B 廃棄物対策推進費補助金 [PDF 102KB]
P C B 処理施設整備事業 [PDF 135KB]

産業廃棄物不法投棄等原状回復措置推進費補助金（産廃特措法分）

2．自然共生社会の実現

(1) 国立公園を活かした地域活性化や世界への発信

日本の自然を活かした地域活性化推進事業（一部公共） [PDF 202KB]

アジア保護地域イニシアティブ構築推進事業 [PDF 86KB]

自然公園等事業費（公共） [PDF 467KB]

国立公園等地域活性化推進緊急事業【24年度補正】 [PDF 176KB]

(2) 生物多様性国家戦略に基づく取組の強化

国立・国定公園新規指定等推進事業費 [PDF 310KB]

遺産地域等貴重な自然環境保全推進費 [PDF 188KB]

奄美地域国立公園指定推進調査費 [PDF 221KB]

愛知目標の実現に向けたCOP10主要課題検討調査費 [PDF 126KB]

生物多様性及び生態系サービスに関する科学政策プラットフォーム推進費

農薬による生物多様性への影響評価事業 [PDF 534KB]

(3) 人と生きものの共生できる社会の構築

特定外来生物防除等推進事業 [PDF 276KB]

特定野生生物保護対策費 [PDF 225KB]

鳥獣保護管理強化事業費 [PDF 167KB]

外来生物対策管理事業費 [PDF 128KB]

国立公園等シカ管理対策事業費 [PDF 159KB]

動物愛護管理推進費 [PDF 184KB]

野生生物保護施設緊急整備・老朽化等対策事業【24年度補正】

3．安全・安心な生活の確保に向けた取組

(1) 安全・安心の基盤となる大気環境・水環境の保全

[1] 水環境に関するリスク管理の徹底や生物多様性の確保に向けた取組

水環境の危機管理・リスク管理推進事業 [PDF 110KB]

水質環境基準検討費（新規項目基準化検討費） [PDF 389KB]

生物応答を利用した水環境管理手法の推進 [PDF 146KB]

有明海・八代海等再生評価支援事業 [PDF 1,862KB]

今後の総量削減制度の在り方の検討に向けた総合調査 [PDF 799KB]

地盤沈下等水管理推進費 [PDF 147KB]

農薬水域生態リスクの新たな評価手法確立事業 [PDF 220KB]

[2] 地域の実情に応じた海岸漂着物対策

海岸漂着物地域対策推進事業【24年度補正】 [PDF 383KB]

[3] より良好な大気・生活環境の確保に向けた取組

微小粒子状物質（PM2.5）等総合対策費 [PDF 400KB]

光化学オキシダント総合対策推進費 [PDF 340KB]

自動車排出ガス・騒音規制強化等推進費 [PDF 169KB]

自動車等大気環境総合対策費 [PDF 303KB]

交通騒音振動対策調査検討費 [PDF 136KB]

風力発電施設からの騒音・低周波音など新たな騒音・振動問題等に対する対応 [PDF 170KB]

[4] 地域の実情に応じた海岸漂着物対策

適応策を中心としたヒートアイランド対策の強化 [PDF 133KB]

熱中症対策緊急推進事業 [PDF 448KB]

[5] 環境管理分野における国際協力

コベネフィット・アプローチ推進事業費 [PDF 138KB]

日本モデル環境対策技術等の国際展開 [PDF 182KB]

水環境保全におけるフットプリント導入推進費 [PDF 676KB]

(2) 水俣病問題をはじめとする公害健康被害者対策等

水俣病総合対策関係経費等 [PDF 354KB]

「環境首都水俣」創造事業(水俣病総合対策関係経費等の一部) [PDF 195KB]

石綿繊維計測体制整備事業 [PDF 234KB]

中皮腫登録データベース構築事業 [PDF 664KB]

茨城県神栖市における有機ヒ素化合物による環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業費

(3) 化学物質対策の推進

[1] 水銀規制に関する条約制定等の推進

水銀条約外交会議開催経費 [PDF 338KB]

水銀対策に関する戦略策定事業 [PDF 338KB]

[2] 国民の安心の基盤となる包括的な化学物質対策の確立

化学物質緊急安全点検調査費 [PDF 396KB]

化学物質審査規制法の優先評価化学物質に係る環境調査事業

化学物質審査規制強化検討調査 [PDF 289KB]

S A I C M国内実施計画実施推進事業 [PDF 565KB]

P O P s (残留性有機汚染物質)条約総合推進費 [PDF 323KB]

[3] 人の健康や環境への影響のさらなる解明

子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査) [PDF 282KB]

化学物質の内分泌かく乱作用に関する評価等推進事業 [PDF 239KB]

化学物質の人へのばく露総合調査事業費 [PDF 445KB]

ナノ材料の環境影響未然防止方策検討事業 [PDF 377KB]

化学物質複合影響評価等調査費 [PDF 336KB]